

ハイライト

九電グループは、環境にやさしい企業グループを目指し、事業活動と環境を両立する環境経営を推進しています。ここでは、環境負荷の低減や環境保全活動などにおける、主な取組みを紹介します。



地球環境問題への取組み

2017年度のCO₂排出量は前年度より減少

川内原子力発電所1、2号機の安定運転と再エネによる発電量の増加により、CO₂排出量は減少。

CO₂排出量
約7%減

▶▶▶ P17

再エネの積極的な開発と受入めでCO₂排出量を低減

地熱	▲52万トン
太陽光	▲3万トン
風力	▲4万トン
バイオマス	▲8万トン
水力	▲215万トン

▶▶▶ P20

CO₂排出量
トータル
▲282万トン

インドネシアでサルーラ地熱発電所が全号機の営業運転を開始

世界最大規模の地熱IPPプロジェクトとして、インドネシアで建設を進めてきたサルーラ地熱発電所の全号機が営業運転を開始。

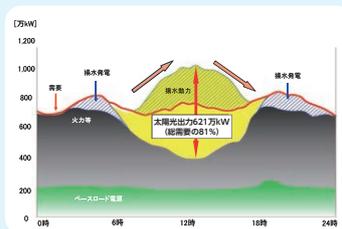


▶▶▶ P21、P36

世界最大級のサルーラ地熱発電所(2・3号機)

太陽光発電の受入量が需要の80%超過

5月3日(木)の12時から13時頃にかけて、お客さまにお届けしている電気の81%が太陽光で発電された電気となり、総需要に占める割合が過去最高に!



需要曲線

▶▶▶ P25



社会との協調

幼稚園児の皆さんが芋ほり体験で、時折出てくる虫に大騒ぎ！

幼稚園児の皆さんが自分たちで苗付けしたサツマイモを収穫。いつもの「いただきます」が感謝の気持ちを込めて言えるようになりました？

▶▶▶ P53

「きゅうでんプレイフォレスト」に約6,600名の方々が参加！

九州各地の森で開催した体験型の環境イベントに、たくさんのお客さまに親子でご参加いただきました。

▶▶▶ P52



土まみれになっての芋の苗付け(刈田発電所)



草木や生き物に触れワクワクしながらのネイチャーゲーム



環境管理の推進

環境法令違反及び環境事故の事例なし

環境経営の推進やコンプライアンスに必要な知識取得のため、現場の環境業務担当者を対象とした研修や講演会を実施。



▶▶▶ P55

グループディスカッション
しながらの社内での研修風景



環境コミュニケーション

第27回地球環境大賞で「経済産業大臣賞」を受賞

再生可能エネルギーの積極的な開発と最大限の受入れ、地域との協働による環境保全活動が高く評価され、初めて受賞。

▶▶▶ P57

授賞式の様子
(東京・元赤坂 明治記念館)



第21回環境コミュニケーション大賞で「優秀賞、優良賞」を受賞

グループ会社の九州林産(株)が2年連続の「優秀賞」、光洋電器工業(株)が3年連続の「優良賞」を受賞。

▶▶▶ P58



授賞式の様子(光洋電器工業(株))



授賞式の様子(九州林産(株))

トピックス 社会貢献活動

九州北部豪雨で発生した流木処理を支援

▶▶▶ P28



苓北発電所

苓北発電所で、木質チップに加工した流木を、発電用燃料として利用。



流木の受入れ